

ジゲを花いっぱい

津地子ども会活動



明るい環境をつくろう!

地域を花で飾り、美しくよくと、津地子ども会が8月13日、「花いっぱい活動」を行いました。

津地自治会館に集まった子ども達と保護者は、プランターにペゴニアなどを植え、津地の全家庭に配布しました。参加した保護者は、「花のある家は、その世話をする人がいるということ、犯罪被害に遭いにくいという話もあります。この活動が地域の防犯にも役立てば」と語りました。

まちの遺産を忘れない

黒坂要害山看板取り付け

歴史あるまちの遺産を守ろうと、8月19日、黒坂要害山に案内看板を取り付けるボランティア作業が行われました。

黒坂の要害山は、峰に2段の平地があり、豪族日野氏の居城であったとも伝えられる山で、かつて敵を防ぐ^{とりで}砦とされていました。

看板は黒坂の宇田春男さんの手づくりで、要害山への登り口に設置されました。宇田さんは「子どもの頃、要害山にはよく登っていましたが、60年ぶりに登ってみると、平らだった頂上に大きなヒノキが生えていて驚いた」と笑顔で話していました。



木製のしっかりとした造り



ボランティアの宇田さん

息のあった演奏を披露

日野中「サマーコンサート」



迫力ある力強いサウンド

8月21日、「日野中学校吹奏楽部サマーコンサート」が、町文化センターで開かれました。

日野中学校吹奏楽部は、部員15人の少人数ながら、8月の県コンクールで金賞を受賞するなど活躍しています。

コンサートでは、受賞曲のほか数曲を披露したほか、「出雲高校OBアンサンブル4512」をゲストに迎え、「シング・シング・シング」、「演歌メドレー」を合同演奏しました。その迫力ある演奏に、聴衆からは大きな拍手が贈られました。

楽しく健康づくり

太極拳教室

総合型地域スポーツクラブ「Do・スポーツ」主催の「太極拳教室」が開発センターで開かれています。

太極拳は、中国拳法のひとつですが、その流れるようなゆったりとした動きは健康づくりに良いといわれ、国内でも多くの愛好者がいます。

Do・スポーツでは、米子市から講師を招いて12月6日までの毎週火曜日、開発センターで教室を開いています。参加希望の方は、Do・スポーツ事務局（タカハシスポーツ 電話72-2323）までご連絡ください。



呼吸を整えながらポーズをとる

きれいな鵜の池でキャンプしよう！

鵜の池湖畔で「みんなでボラキャンプ」



道路わきのごみも見逃さないよ



おごそかにキャンプファイヤー

子供たちに自然環境の大切さとキャンプを一緒に味わってもらおうと、8月20日、21日、「みんなでボラキャンプ」が鵜の池キャンプ場で開かれました。

「ボラキャンプ」とは、清掃活動（ボランテア）とキャンプを組み合わせたもので、今年で4回目になります。

今回は子どもと保護者、ボランテアスタッフが合わせて60人が参加しました。

参加した人たちは、鵜の池湖畔のごみ拾いを2班に分かれて行い、親子で協力し合いながら、ごみ袋いっぱいにごみを集めることができました。

その後は、テントの設営や飯ごう炊飯などは子どもたち自身の手で行いました。また、キャンプファイヤーや花火大会、肝だめしなど、ボランテア活動だけでなく、キャンプのだいご味も十分に味わいました。

ふるさと再発見

「ふるさと教室」



因幡二十士の遺品の説明を聞く（泉龍寺）

日野町の歴史や産業を学ぶことでふるさとを見直してもらおうと、8月25日「ふるさと教室」が開かれ、町内の小学5、6年生が参加しました。

子供たちは、講師の町歴史研修会の川上護さん、牧智也さんからまちの歴史の説明を受けながら、菅沢ダム、泉龍寺、クリーンセンターくぬぎの森などを見学し、自分が生まれ育った日野町について改めて考え直しました。

安らぎの空間と音楽

「ナイト・トレイン・ライブ」



甘い歌声で観客を魅了する安達さん

まちのみなさんに安らぎの空間を提供したいと、「ナイト・トレイン・ライブ」が8月27日、「軽食・喫茶シュッポポ（貝原）」で開かれました。

ライブに出演したのは、安達知幸さん（根雨）と、地元で活躍するバンド「ハザード」で、オリジナル曲などを披露。客席はテーブルのキャンドルの灯りと心に響く音楽で満たされました。

安達さんは「歌を聞かせるだけでなく、食事やキャンドルの灯りなども含めた安らぎの空間作りができてうれしい。これから毎月1回のペースで続けていきます」と、抱負を語りました。

アユ釣り自慢集合

「鮎チームバトル」



大きく育ったアユが次々と

アユ釣りの腕を競う「鮎チームバトル2005中国大会（ダイワ精工（株）主催）」が、8月28日、リバーサイドひの周辺の日野川で開かれました。

大会では、西日本各地から約150人の選手が参加し、5人1組のチームで釣れたアユの数を競う団体戦や個人戦が行われました。

大会で釣れたアユは、おしどり荘とかじか荘に寄贈されました。